

第1回 シンポジウム「乳がんを知り、支えるために」

基調講演として、沖野孝先生より「ききたくてもきけなかった乳がんの基礎知識」と題し、乳がんの罹患状況から診断・告知、治療方法のトピックス、緩和ケアまでの流れと最新情報についてご講義頂きました。



その後に、シンポジウムとして、診療放射線技師の立場から杉山氏より、マンモグラフィ・エコー・CT・MRI の特徴について、また治療について説明頂きました。



臨床検査技師であり、細胞検査士の田口氏よりは、乳腺細胞診の中で、教科書では異常なしと習う筋上皮細胞でも異常がある場合の症例についての紹介を頂きました。



理学療法士の横谷氏より、男性乳がん患者のリンパ浮腫についての1症例について介入方法も含めご紹介頂きました。



がん看護専門看護師の木村氏より、患者の抱える悩みとケアについてご紹介頂きました。



乳がんの治療、診断により長期に病気と向き合う方が増える中、高度な専門性を持ちつつ、協力し合い優しさを持って対応していこうとまとめられました。